

## 運転するときの注意

### 慣らし運転

適切な慣らし運転を行うと、お車の性能をより良い状態に保つことができます。

### Ⅰ 慣らしのポイント (走行距離 500 km まで)

- エンジンの過剰回転をさける
- 急発進、急加速、急ブレーキ、急減速を避け、控えめな運転をする

### ブレーキ

次の項目に注意してください。

- 不必要な急ブレーキ、急なシフトダウンをしない
  - ▶ タイヤをロックさせるなど、車体の安定性を損なうおそれがあります。
  - ▶ コーナリングの際は、コーナーの手前で減速します。
- 雨天走行など滑りやすい路面に注意する
  - ▶ タイヤがロックしやすく、制動距離が長くなります。

- 連続したブレーキ操作をしない
  - ▶ 温度上昇が原因でブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

### Ⅰ 連動ブレーキシステム

ブレーキペダルを操作すると、後輪ブレーキが作動すると共に前輪ブレーキが作動し、ブレーキレバーを操作すると前輪ブレーキが作動します。

レバーのみ操作した場合とペダルのみ操作した場合は、制動力が異なるため効き具合に違いがあります。

制動力を効果的に得るためには、レバーとペダルを同時に使う必要があります。

### Ⅰ ABS (アンチロックブレーキシステム)

ABS は、直進制動時のブレーキのかけすぎによる車輪ロックを制御する装置です。

ABS を正常に機能させるため、タイヤは必ず前後輪とも指定タイヤをお使いください。

- 制動距離を短くするためのものではない
  - ▶ ABS を装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。